

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和四年 八月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー ②⑦】

《矢野誠一》 その1 《道の駅ことひき》の隣の《琴弾カフェ》の入り口手前にブロンズ像があります。これは地元の芸術家、矢野誠一氏の「襲う影」という作品です。誠一は明治十八年(1885)に観音寺市の琴弾山に近いところで生まれました。小学生の頃から成績は常にトップで絵画はもとより書道、俳句など飛び抜けて優秀でした。また温厚な性格で全校生徒や教師からも



信頼を得ていました。東京美術学校(現東京芸術大学)に入学後、「故山」と題した男性立像で文展に初入選しその才能が高く評価されました。この頃故郷の両親を失い苦学することになりアルバイトをしながら彫刻研究を続けました。一時期彫刻から離れますが断ち切れず妻子を故郷に預け、単身上京して制作に励み、帝展(帝国美術院展覧会)第六回展で「初夏」が特撰となりました。七回展でも特撰をとり、ついに昭和四年に第十回帝展審査員に推挙されました。けれどもこの前より病魔に冒されており、身体の不自由を失い、歩行に杖が必要となりました。

(つづく)

◆ 公園清掃日について ◆

今月の清掃日は 8月1日です。

午前八時～九時 (雨天：8月8日)

琴弾公園の池付近に集合
みなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ080-3211-1962

【琴弾公園クイズ ④①】

琴弾公園にある銭形砂絵の外周の大きさは、横が105メートルです。縦は？

- ① 118メートル
- ② 128メートル
- ③ 138メートル

うれしいお便り 2

今年二月に四国新聞4社共同企画「地域を創る四国を拓く」に《琴弾公園の魅力発信》として、いいまちづくり観音寺輝き隊の活動が掲載されました。この記事を読んだ綾歌町の方からお便りが届きました。



先日、琴弾公園の定期清掃を四年も継続されている記事を読み、綾歌町から琴弾公園へ家族で行ってみました。確かにゴミひとつなく、どこも美しく管理され感動しました。ご苦勞様です。：砂絵と黒松と瀬戸内海と伊吹島の絶景を展望台から眺め：いいまち観音寺がこれからも輝けることを願っています。

温かいお言葉はこの上ない励みになります。ありがとうございます。

◆ いいまちづくり観音寺輝き隊 ◆

私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようという頑張っています。

『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。



※ 2022年度 一般財団法人 セブン-イレブン 記念財団の助成を受けています。